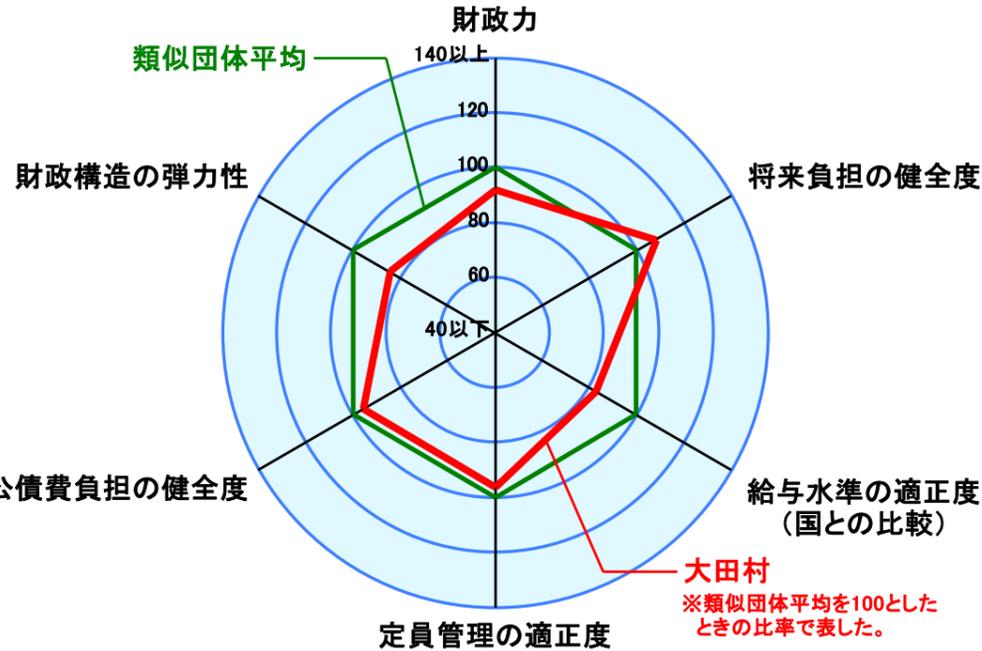
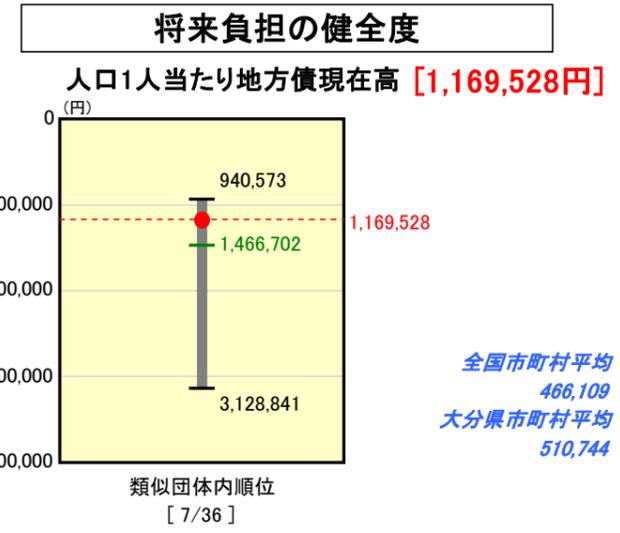
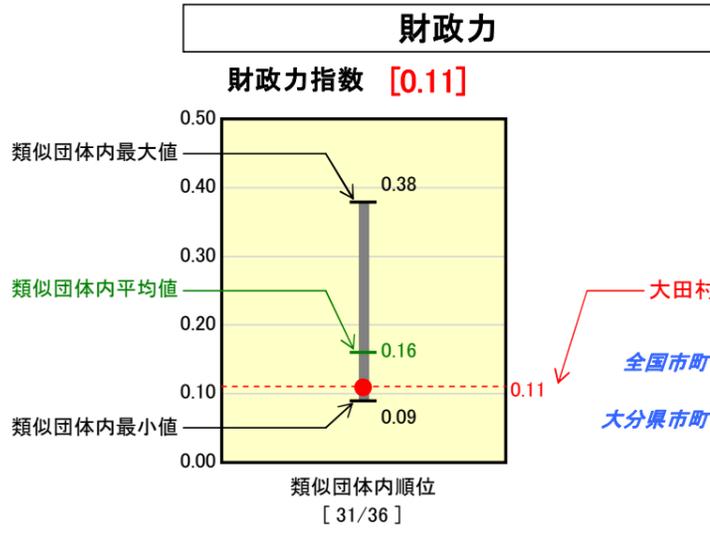


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

大分県 大田村

人口	1,807人(H17.3.31現在)
面積	46.07 km ²
歳入総額	1,785,370 千円
歳出総額	1,639,866 千円
実質収支	102,022 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

- 財政力指数** : 人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成16年末45.5%)に加え、村内に中心となる産業がないこと等により財政基盤が弱く、類似団体平均をかなり下回っている。退職不補充等による人件費の削減、投資的経費を抑制する等、歳出の徹底的な見直しを実施する。
- 経常収支比率** : 年々減少する普通交付税及び臨時財政対策債に加え、扶助費の増加により99.4%と類似団体平均を大きく上回っている。退職者不補充、定員管理、事務事業の見直しを行い徹底した経常経費の削減に努める。
- 起債制限比率** : 普通建設事業に係る起債の償還等に伴い上昇し、類似団体平均をやや上回っている。今後は交付税措置のある起債を優先的に借入れを行い、起債制限比率の抑制に努める。
- 人口1人当たり地方債現在高** : 近年大規模事業が少なかったため、現在のところ類似団体平均を下回っている。今後も類似団体平均を上回ることがないように地方債の発行の抑制に努める。
- ラスパイレス指数** : 給与体系の見直しが遅れ、類似団体平均7.2上回り、全国的にも高い水準にあるため、給与の適正化に努めるとともに職員の給与カットを実施し、類似団体平均で低下させる。
- 人口1,000人当たり職員数** : 生活環境整備事業等、積極的な施策の展開に人員が必要だったため類似団体平均を上回っているが、事業完了により退職者の補充を行わず職員数を削減し、より適正な定員管理に努める。

